

習志野市長に宮本氏

4氏破り初当選

統一地方選を締めくくる3市長選と16市議選、銚南町長選と4町議選が24日、投開票された。現職が引退し新人5人が立候補した習志野市長選では、無所属で自民、公明両党推薦の宮本泰介氏(38)が混戦を制した。佐倉市長選では藤和雄氏(61)が現職の強みを生かして再選。流山市長選でも、現職の井崎義治氏(57)が3選を飾った。銚南町長選では白石治和氏(64)が5選された。16市議選は総定数423に544人が、4町議選は総定数62に対し74人がそれぞれ立候補し、次々に当選者が決まった。

【森有正】

佐倉市長選 藤氏が再選

流山市長選 井崎氏3選

統一選 ちば

◇習志野市長選

5期20年務めた荒木勇市長の引退を受けて5人が並び立ち、荒木氏の後継と目された宮本泰介氏(38)が初当選した。自民県連が候補の一本化に失敗し、宮本氏ら3人に異例の推

薦を出すなど波乱要素もあったが、荒木氏の強力な後押しを受け公明党の推薦も得て混戦を制した。

同市大久保1の選挙事務所では25日午前0時半ごろ当選確実の1報が入ると、詰めかけた大勢の支持者から歓

声が上がった。直後に宮本氏が姿を現すと、拍手の嵐。荒木市長らとともに万歳をして当選を祝った。宮本氏は「信頼、共感、希望のまちづくりをしよう」と立候補した。荒木市政20年間で評価され、私の理想とするものが支持された結果だ。自民、公明と一緒に未来に向けた街づくりを身を粉

にして頑張りたい」と緒に回って支持を呼び抱負を述べた。

今回の選挙では、荒後援会がフル稼働して木氏が宮本氏の支援を地域への浸透を図った。一方で、3人に推薦を出した自民党も、

緒に回って支持を呼びかけるとともに、荒木後援会がフル稼働して地域への浸透を図った。一方で、3人に推薦を出した自民党も、

石井準一県連選対委員長をはじめとする複数の国会議員が市内に入り、公明党も全面的にバックアップ。票の上積み貢献した。

民主などが推薦する布施健太郎氏(39)は国や県とのパイプを強調したが、党への逆風で伸び悩んだ。鴨哲登志氏(64)は「荒木市長的政治のチェンジ」を訴え、政党の支援を受けない草の根選挙を展開したが及ばなかった。

自民の佐藤正己県議



習志野市長選で初当選を決め、万歳して喜ぶ宮本氏—習志野市の選挙事務所

◇習志野市

宮本 泰介 38無現①
園市議・副議長



市消防団 副団長
市消防団 団長
市消防団 副団長
市消防団 副団長

市青少年相談員連協副会長
市青少年相談員連協副会長
市青少年相談員連協副会長

◇佐倉市

藤 和雄 61無現②
市長



市長
市長
市長

人理事長
人理事長
人理事長

◇流山市

井崎 義治 57無現③
市長



市長
市長
市長

立大サンフランシスコ校大
立大サンフランシスコ校大
立大サンフランシスコ校大



当選が決まり、万歳をして喜ぶ宮本泰介氏(右)＝習志野市



市長選の得票

佐倉市

＝確定得票

当 43,044 歳 和雄 61 無 現
 25,840 密本 俊一 64 無 新

習志野市

＝確定得票

当 17,031 宮本 泰介 38 無 新
 14,219 布施健太郎 39 無 新
 13,080 鴨 哲登志 64 無 新
 11,996 藤本 一磨 45 無 新
 6,051 三浦 邦雄 67 無 新

流山市

＝確定得票

当 49,864 井崎 義治 57 無 現
 14,289 大作 浩志 53 無 新

(四角囲み政党は推薦・支持)

習志野市長に宮本氏

佐倉 歳氏 流山 井崎氏

統一地方選を締めくくる4市町長選と20市町議選、大網白里町議補選は24日投票、即日開票された。新顔5人による激戦となった習志野市長選は宮本泰介氏が初当選した。佐倉市長選は現職歳和雄氏が一騎打ちを制した。流山市長選は現職井崎義治氏が大きく差をつけて選を果した。市町議選も25日未明にかけて、次々と新議員が誕生した。

習志野市長選は、確定した。ある陣営の立会人が市選管理委員会に、開票従事者の委嘱状の提示を求めたのが25日午前1時だった。そのため開票開始が約25分遅

れ、その後の開票事務もずれこんだ。引退を表明した荒木勇市長の5期20年の市政運営の継続が転換かが問われた。荒木氏の後継である宮本氏の当選により、有権者は継承を選んだ形だ。再選を目指す歳和雄氏と新顔の密本俊一氏との戦いとなった佐倉市長選は、明確な争点はなく、ともに防災や福祉対策を訴えた。歳氏の再選により、現職の1期目の実績が評価された形となった。少子高齢化が進む中、行革や産業経済の活